

平成 29 年度「ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業」実施報告書

周防大島町立明新小学校・三蒲小学校・沖浦小学校 第5学年（25名）

平成 29 年 8 月 1 日～8 月 3 日 実施

1 活動のねらい

- 宿泊体験活動を通して、児童の社会性や豊かな人間性を育てる。
- 農漁村の自然や人々との交流の中で、活動される方々へ感謝の気持ちを持ち、自然とかかわって活動するすばらしさ、重要性を感得させる。
- 自主・自立的な共同生活を通して、規律ある生活態度を身に付けさせる。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：各学校・周防大島町東和・安下庄地区】

	期 間	活動の内容	単位時間数
事前指導	7月1日～	○体験活動の計画確認	2
	7月19日	○体験活動の自己目標設定と自己紹介	2
実施	8月1日～ 8月3日	○東和・安下庄地区の民泊家庭での家業体験	12
事後指導	9月1日～	○民泊家庭への手紙(近況報告含)作成	2
	9月9日	○民泊体験の振り返り	1

3 活動の展開

8月1日（火）		8月2日（水）		8月3日（木）	
8:00		8:00	朝食 家業体験	8:00	朝食 家業体験
12:00	入村式・対面式 各家庭で家業体験	12:00	昼食 家業体験	12:00	離村式
17:00	夕食・入浴 自主学习（日記・手紙） 健康観察	17:00	夕食・入浴 自主学习（日記・手紙） 健康観察	17:00	
22:00	就寝	22:00	就寝	22:00	

家業体験は、竹細工、そうめん流し、海岸探索、海水浴、魚料理、漁、魚釣り、調理体験等、各民泊家庭により内容が異なる。

4 実施上の留意点

- 事前打合せで、各校教諭と児童の健康状況や人間関係を十分に協議した上で、各校で班編制を決めた。
- 養護教諭と学級担任が健康調査票を作成し、体験活動約1か月前に調査を実施した。アレルギーや保護者が事前に民泊受入家庭に伝えておきたい内容について整理し、それぞれの家庭に事前連絡を行った。
- 事前に周防大島町体験交流型観光推進協議会と入念な打合せを行い、けがや病気等の事態を想定し、緊急連絡体制を確認し、共通理解を図った。民泊活動中においては、夜間は校長が緊急対応の窓口となり、緊急時に備えた。
- 体験活動後の児童の日記や作文及び活動の様子の写真を学校便りや学級通信に掲載し、児童の成長と学びの成果を地域や保護者に紹介した。

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

- 家業体験は、林業・漁業・自然・食づくり・生活体験と多岐にわたっている。特に、児童の心に残った内容としては、釣りや漁・魚料理・ごはんづくり・木や竹の細工などがあり、周防大島町ならではの活動に生き生きと取り組んだ。
- 活動を通して、周防大島の特徴やよさを改めて認識するよい機会となり、充実した3日間を過ごすことができた。また、他校の児童との集団生活をする中で、コミュニケーション能力を育成するよい場とすることができた。
- 児童の感想より
 - ・自分で魚をさばくのは初めてだった。いろいろな体験をすることができてよかった。
 - ・今までやったことのない漁（イワシ網）などができてよかった。
 - ・昼ご飯が作れるようになった。
- 児童は、さまざまな体験活動を行っているが、民泊で学んだことが、時間が経過した後も学校生活や家庭生活に生かせるよう、振り返りの場を定期的にもつなどの取組を行う必要がある。

(2) 今後の改善点

- 民泊家庭との打合せや相談を綿密に行い、目的を十分に共通理解した上で、効果的な活動になるよう計画していく必要がある。
- 学んだことを継続して意識していけるよう、振り返りの場を定期的にもつ必要がある。
- 本事業を元に、自分たちの住んでいる地域のよさを再認識する活動を設定する必要がある。



【竹細工体験】



【波止場釣り体験】



【魚の調理体験】



【魚釣り体験】



【離村式後の様子】